

小・中学校適正規模化実施計画(案)作成にかかる意見交換会

- ・開催日時 平成 24 年 8 月 28 日(火) 午後 7 時～9 時 10 分
- ・開催場所 上佐谷小学校 体育館
- ・出席者 保護者等 32 名

《意見集》

質問1

スクールバスの想定について伺いたい。維持経費の削減効果とバスの想定経費が2パターンのうち、統合校となる学校以外の児童全ての児童を運ぶような想定でバスを出すと経費が多くかかり、それらの経費を比較すると統合による経費の削減効果が見込めないことから、上佐谷小学校児童の半分は歩くことになると見受けられる。上佐谷小学校の児童が徒歩で通学するとなると、不審者などが心配される危険な山道を歩かなければならなくなり大変不便になると考えられる。そうすると、魅力のない地域となり、若い人たちが今よりもっと住みたいと思わなくなり過疎化が進むと思われる。そのあたりを教育委員会ではどのように考えているのか。

回答1

資料から読み取ると厳しいケースに見て取れますが、運営検討委員会で相談いただくことになりませんが、説明会の中でも4kmというのは遠いだろうという意見をいただいております。原則4kmというのは最高限度で、何が何でも4km以内の人はバスに乗れないという方針にするつもりではありません。ただ、基準というのは、これしかないものですから、これを基準として今までの通学の距離の状況ですとか、新しい学校の従前の通学路を勘案して距離を決めてもらって、原則の距離の中で加味すべき条件として交通量が多い、山道でさびしいなどの条件を加味して、皆さんが納得していただける条件を作っていただきたいと考えます。ただ、果たしていくらぐらいかかるのかというのはケースバイケースで分かりませんので、バス運行の単価は交付税の単価を用いて、全員でバスを利用したら、半分の児童がバスを利用したらとアバウトに計算したものです。誤解を受ける資料の作り込みであったのかなど反省をしています。資料は、節減効果と、これからかかるものとして、それぞれに見ていただきたいと思っております。実際の運行状況については、資料を参考いただきたいと思っておりますが、300万円から600万円と幅があります。そういった経費はかかってくるもので、節減の効果から生み出すものではないと学校教育課ではとらえております。この費用のために統合をやるものではないのですが、あまりに経費が膨らみすぎるのもよしとしているものではありません。どのような経費がかかり、どのような経費の削減が図れるのかと見ていただきかけた資料です。4kmという距離は皆さんで検討いただいて適当な距離は3kmなのか、2kmなのか、その辺をご相談しながら決めていきたいというふうと考えております。

質問2

志筑小学校以外の学校の人たちは、全員バスを利用させてくれという意見になると思う。そうすると

統合の削減額より上回るのは確実になるので、予算が無いから 4km 未満は歩いてくれということになるのか、または、もう一回見直しとなるのか、その辺を教育委員会ではどのように考えているのか。

回答2

今、ご心配のような結論は出さないこととしています。統合はお金がかからないというものではなく、お金がかかるものと認識しております。コストをかけてでも、よい教育環境で子どもたちに勉強してもらいたいと考えておりますので、削減額によって判断するようなことは無いと、教育委員会では考えております。4 km以内の考え方ですが、統合により新校が今よりも近くなるというケースもありますし、バスを利用すると体力が低下するので歩かせるという声もあります。今、統合校とされる学校に通っている子どもたちすべてをバスにするということは統合との関連では考えておりません。違った条件で通うようになる子どもたちを、どこまでが遠距離通学としてバスの対象となるか相談して、しかるべき基準を決められたいと考えております。学区審議会から無償との意見をいただいております、無償で運行したいと考えておりますので、ある程度の基準となつてご理解いただきたいと思つています。視察した事例では有償で運行しているところもあります。そこは2 kmが基準で、2 km以内の子どもでも、停留所まで行って利用するといったことは可能でした。ただし、一月当たり往復で 3,000 円かかるというものでした。しかし、これまでの条件よりも利便性を図ることから有償ということですが、当市では無償という考えでおりますので、そこは現状の子どもたちすべてを無償ということは難しいのではないかと考えております。

意見1

希望としては、全員がバスに乗れるようにしてもらうのが、不審者対策にしても、交通安全対策にしてもベストと思うので、何とかうまくできないか検討していただきたい。

質問3

バスが出なかった場合、近くの子は乗せないとなつた場合は、歩道の設置とか信号機の設置とかができる見込みがあるのか。歩道が絶対できるといった確実なことがあるのか。志筑とか七会とか危険なところを通学している状況がある。統合した場合歩道ができるのか心配である。

回答3

バスに乗れない子ができた場合に、歩道が整備されるのかということについて、この場では返事はできません。

質問4

それではダメだ。全国各地で交通事故などが起きている状況があり、身近で七会小の子が歩道の無い県道を通っている状況が続いている。行政の怠慢だと思う。その辺をはっきりさせないとまずいのではないか。危ないし、命がかかっているのに納得いかない。

回答4

不審者対策、交通事故対策については、教育委員会としても学校としても神経をとがらせているところです。七会小学校の状況も歩道が整備されない状況です。我々としても県道であれば県に、市道であれば市に整備の要望を行っているところですが、なかなか整備が進まない状況です。学校でも迂

回路など模索しながら安全確保に努めているところですが、資料にも書いてありますように早期実現に向けて努力していくというところです。また現状の状況が危険ということで、諸条件がそろわなければ通えないとなってしまうと、現在でも学校へ通えないということになってしまいます。この問題は時間もお金もかかる問題ですのでご理解をいただければと思います。

質問5

七会小学校の現状はご存知か。

回答5

通学路については、各学校からの報告を頂いており、把握しているところです。通学路の危険性については、先般、危険個所の点検ということで道路管理者にも来ていただき現地を見ていただきながら現状確認をお願いしたところです。しかしながらその状況を確認しても、すぐに予算をつけましようとはならない現状です。学校サイドとして求められることとして迂回路を模索するか、教育の一環として「自分の身は自分で守る」といった安全意識を向上させるなど、お互いの立場でそれぞれ安全確保を模索していくということが現状です。

質問6

説明を聞いていて不安に思っている。生徒が安全に登校し、安全に学習できる環境が誰もが望むことである。全部をバスに乗せて安全を確保することが大事と思う。事故が起きないとガードレールもできない状況。より良い安全の確保をお願いしたい。

回答6

ご意見ありがとうございました。この統合計画は、より良い学習環境の構築ということが目的です。その大前提は子どもたちの命を守るということです。4 km、6 kmというのは遠いと感じております。しかしながら、この基準は地勢などを勘案しながら決めますということになっておりますので、皆様のご意見を最大限に実現しなければ子どもたちの安全や、皆様の安心を得られないと思っております。

意見2

私は、小中学校適正規模化には賛成である。また、子どもたちのためにも必要と考える。しかし、今回の千代田地区の実施計画案では、適正規模化は達成できない計画案となっている。なぜなら、下稲吉小 24 クラス、下稲吉中 20 クラス、下稲吉東小 18 クラス、千代田中 6 クラスが計画から除外されているからである。資料を見ると、12 学級から 18 学級が適正規模の目安とされている。これを見ると、適合しているのは下稲吉東小学校だけである。稲吉地区の 2 校は、平成 30 年までみても適合しない。新たな学校の建設案も小学校だけ該当し、下稲吉中は無理である。また、千代田中は 6 から 7 学級のみで原案のまま小学校の統廃合をしても平成 36 年度には 41 人の入学しかない。今回の統廃合の手法では、目的は果たせない。教育の機会均等も損なわれる。稲吉地域の学校は、茨城県下でも特別問題が多いところである。特別対象になっており、子どもたちにとっては大変不幸なことである。一刻も早く、躊躇せず、先送りせず手を打つ必要がある。それが、この適正規模化をしようとしていることから除外されていることは理解できない。

わが市において、いや、茨城県において教育の最重要課題の稲吉教育問題を解決する良い機会のひとつとし、適正規模化するべきではないかと考える。統廃合方式では、適正規模を超えている稲吉地区に、近いうちに学校を2校新設するしかないと考える。しかしこれは、財政面や用地の確保等を見ても困難が多すぎる。千代田中学校においては方策はなく、資料のように平成30年に今と変わらず6クラス、不適正規模のまま置き去りである。私はそこで、適正規模を超えている稲吉地区の学区割の見直し、特に下稲吉小、下稲吉中の生徒を新治小、志筑小、上佐谷小、七会小、千代田中学校へ新入生から徐々に入学させる一部分離統合方式を提案する。下稲吉東小も場合により対象とする。課題としては、稲吉地区からの反対。耐震工事の必要性。スクールバスの運行。受入地区からの反対。行政の対応。利点として、適正規模化の市内全域完全目標達成。稲吉地区に2校新設しないので、経費の大幅削減。稲吉地区学校の荒廃問題の抑止。教育の向上。これは全国学力テストを基準としている。千代田中の適正規模化達成。歴史と伝統のある学校の存続。地域住民の精神的安定と向上。削減されたお金と関連交付金で通学路や施設整備。教育効果の向上をはかることが大きな目的である。そのための適正規模化でなければならないと考える。思考を柔軟にして対応し、稲吉地区の学校の問題を先送りせず、千代田中も置き去りにせず、千代田地区を教育的、精神的乱れが生じないよう、家庭が不安定化しないよう、きわめて悪い社会にならないよう導いてもらいたい。教育の機会均等をはかることは、憲法や基本法にも明記されている。今回の統廃合方式では、得られることより失うことが多く、目的も果たせない。何をやるのも大変だが、どうせやらなくてはならないならいい仕事をして、子に孫に、いい仕事じいちゃん、ばあちゃんはしてきたから今があんだどと言えるようにしようと述べて意見とする。

意見3

以前、上佐谷小学校の複式学級を解消しようと協議を持った時に、問題のある大きな学校からよい環境のこちらの学校へマイクロバスなどを出して運んで、一緒に勉強できないのかなど話し合いを持ってきた。その地域の理解が得られないんじゃないかということで、そのままになっていたが、これを契機にそういったことも検討していただければと思う。通学路の問題で以前、市役所の方が小学校周辺の整備は必ずやりますと言ってくれたが、その後どうなったかわからないが、通学路の整備というと、学区の境あたりはあまり整備されない。そういったところも整備をお願いしたい。

質問7

自分の身は自分で守るということは少々乱暴な言い方ではないのかなと思う。居眠り運転や、悪意をもって近づいてくるものに対し守るべきがない。大人だって無理である。歩道の整備が無いという話は意見交換会でたくさん出ていると思う。子どもたちは、この上佐谷地区の将来を担いこの地区にずっと住んでいくので、住みやすいように行政が対応していくことは必要ではないかと思う。それと、保育所においてスクールバスを運行しているが、保育所と一緒に学校のスクールバスを運行することはできないのか。

回答7

最初の件、不快な思いをされたなら申し訳なく思います。言いたいのは保護者の皆さんが安全を確

認しながら登下校をしている状況で安全に登校しているが、普通の日常の中で横断歩道のところは自分で信号や左右を確認するといったことが大切ということをお願いしたものです。大変申し訳ありませんでした。

保育所のバスに小学生が乗ることが可能かということは、それは可能かと思えます。

質問8

ちょっと待ってほしい。保育所のバスに小学生が乗ることは物理的に不可能である。間違った回答をしないでほしい。保育所のバスは、ぶつからないように、椅子から放り出されないように椅子が小さくなっている。通常29人乗りのところ49人の椅子としている。高学年の小学生の身長と、保育所の年長の身長では大きく違う。だから高学年の子が保育所バスに乗ることは物理的に不可能である。道路交通法上も無理である。共有するのであれば29人乗りのバスを買っていただければ対応は可能かと思う。予算でいえば保育所は民間委託をしていない。例は民間のものばかりである。保育所で数台バスを使っているの、その予算を見ていただければどれくらい費用がかかっているかわかると思う。また、値段の違いは大型バス、マイクロバスとの違いであると分かる。そういったことを、はっきり分かったうえで説明された方がよろしいのではないか。

回答8

申し上げたかったのは、スクールバスも無償ですので特定バスの扱いになると思います。特定バスですので旅客業法の適用とならないバスとなりますので、市の方で考えるところの自由度があるとの判断で申し上げたことで、不勉強で、乗れる座席ではないとの判断はありませんでした。費用のところは、へき地助成という制度があり、その助成をもらって購入したバスを事業者に運行してくださいと委託すると例のような費用になるようです。資料は県の調査資料で直接調査したものではないですが、早く統合が決まれば、補助金を申請してバスを整備し運行事業者に委託し使っていただくというやり方ができるようです。補助金の申請は2年、3年前から手を挙げるということになりますので、必ずしも統合と補助金の申請のタイミングがぴったりと合うというものではないようです。そういうものを購入し事業者に預けたというところは費用が安くなっているようです。ご指摘のように、市ですでに運行しているものがあるので、それを使って積算するというのも筋と考えますので、もう一度よく資料を作成して説明できるようにしたいと考えます。

質問9

伝統のある上佐谷小学校を残していただきたいというのが希望だが、子どもの人数を考えると統合も仕方がないが、そこで考えるのは統合するならば、やはり子どもの安全が第一条件となってくる、先程来、意見、要望を聞いてということだが、その要望がこういうことだったという話し合う場があるのか。

回答9

この意見交換会でいただいた内容は、よく把握して計画書の書いてある事項に反映できるかを事務方の方で協議したいと思えます。この一文字を変えるということは、将来的に続くことなので財政面でも協議をしながら作っていったら、これを再度、修正ができた段階で地域に説明会を設けて説明してい

きたいと思っております。これらの説明を経て、これで OK だということになれば、議会へ条例の改正を提案するというのが最後の決定となります。こういった順序で修正をしながら理解をいただいくことを考えております。

意見4

難しくよく分からなかったが、言いたいのは子どもの安全を守ってくださいということである。今、うちの子は 2km を 40 分から 50 分かけて歩いていて、今の暑い時期は汗だけで水筒を持ちながら通っている状況である。そういった現状をみていただきたいと思う。子どもたちが、どういった所を通っているのか、現状をよく見ていただき安全対策をしてほしいと思う。

質問10

子どもの通学路を安全に整備していただくというのが第一条件とは思いますが、「第二期計画期間に学区の見直しを検討します」と書いてあるが、もう一方では「学区の見直しは行わない」と書いてある。また、学級数が6学級と変わらないのに、「部活動の多様化が確保される」との文言が書いてある13ページの趣旨と合わない。12ページで学校と児童、地域との連携を確保するため学区の変更は行わないと書いてあるが、19ページで先生方の協力を得て事前交流を行うとか書いてありつつも合わない。

実際、千代田中学校にある部活と無い部活があり、娘が上がる数年先には部活動がないという事態に陥ってしまう。目先の小学校のことばかりではなく出島地区、千代田地区と捉われず総合的に学区の見直しをされた方がよろしいのではと思うのだが。

回答10

現行の計画では千代田中は統合の対象としていませんので、人数が変わってなくて部活動の多様性が変わらなにご指摘はそのとおりです。先の意見にありましたように、管内の小学校から必要な数を集めるところまでは考えておらず、下稲吉中学校とのやり取りで見いだせないかとの表現でした。しかしながら、そういった意見もいただいております。また、都市部では学区の選択等の例もありますので、制度的なものも含め、その見直しが図れればと考えております。ただ、統合の方法のように具体的なスケジュールは出していなくて申し訳ありませんが、具体的に検討してきた経過がありませんので、手法を皆さんと相談のうえ学区の見直しをしたいという意味での記載の表現です。部活動の多様化という意味では効果は出ていないということになります。千代田中学校の表現は分かりやすい形でより具体的に書いていければと考えていければと思いますので、ご意見をいただきたいと思えます。また第二期の計画期間では学区の見直しを検討しますということです。現実的に学区の境界のところで声があったり色々な理由で違う学校へ通う生徒もあったりします。しかし、この計画は今の学校と地域のつながりをそのままに統合しようという考えのもと作っているものです。この計画で、5年後に、新たな人口の動向も変わってきますので、その変化も見極めながら学区の見直しを行っていくということが言いたかったものです。うまく伝わらないということでしたので、誤解が生じないようにしたいと思います。

意見5

今、書き方が悪いとの説明だが、原案自体が至っていない。2 期目になっても下稲吉の問題は解決

しない。下稲吉小学校の問題を解決するには新しい学校を作らなければならない。莫大な費用がかかる。用地の確保も難しく、県の認可が下りないと思う。内容が誤っていてそれを住民から示唆されている状況では県は認可しないと思います。抜本的な案を練り直さないとダメかと思う。

質問11

過程はどうあれ、市長の任期や職員の異動があっても私たちの声が消えないようにしてほしい。今後も継続して検討してほしい。道路の問題をはじめ、ちゃんと持ち帰ってほしい。

回答11

承ります。皆さんの意見をきちんと経過、記録を残し皆さんの意見を反映すればきちんとしたものができるのではと考えます。きちんと残せば担当が変わっても引き継がれていくと思います。ご意見を頂戴してそのような体制をとっていきたいと思います。

質問12

学区審議会により協議しこのような案が整ったと思うが、今後も学区審議会は開催されるのか。

回答12

本年度も説明会に学区審議会を開催し説明を行いました。きちんとした組織ですので今後も継続します。

意見6

要望だが、各学校1名ではなく、出来れば、今後より多くの意見を反映させるためにも、もう1名、できれば1,2年生の保護者を入れていただき、各区長さんにも入っていただいてより多くの意見を聞いてほしいと思う。

質問13

小中学校の適正化ということだが、千代田中学校の記載があまりない。千代田中学校も震災の影響を受けて校舎が雨漏りし、雨漏りのない教室で授業を行っている状況。千代田中学校をもう少し含んで計画づくりをしてほしい。

回答13

そのように修正をしていきたいと思います。

質問14

生徒数が増えると、もめごととかいじめとかが増えると思うが、その辺の考え方がどうなっているのか。小規模校のメリット、デメリットばかりで中規模校、大規模校のデメリットが無い。また跡地利用は決まっているのか、地域にとって大事なこと。空いた学校がそのまま残るといふのにも不安がある。跡地利用の担当はどこになるのか。

回答14

跡地利用の担当は決まっていないが、先進事例を見ると全体的なことなので企画的な部署が持つ

ていることが多いようです。

質問15

その担当者が説明会に来るとのことか。

回答15

現状でその内容が決まっているわけではありません。

質問16

住民としては学校が無くなってすぐに何かに利用してほしい、ほったらかしにしないでほしい。

回答16

児童生徒が増えることで問題が増えるということの対応ですが、県の方でも先生の加配の制度があります。今も、TT や介助員などを措置している状況があり、それらを継続していきたいと考えます。また、メリット、デメリットですが、中規模、大規模は小規模校のメリット、デメリットの関係が逆転するというふうに考えております。統合で組合せをしている例では、いわゆる大規模校になるというところはありません。学級数で人数を見ていただければ分かるかと思いますが、1学級で25人から30人の2学級でするので、いわゆる大規模校のデメリットは出てこないと考えます。ただ、統合する過程で、違った環境になることから気を付けなければならないということで、上佐谷小学校の先生も何人かは一緒に統合校へ配置するといった配慮がなされることになると思います。少しでも児童生徒、保護者の皆さんが安心できる体制で統合ができるという方策をとっていきたいと思っております。

意見7

大規模校にならないことは分かっているが、5, 6人で慣れた子が20人のクラスになることはその子にとっては大きいことと思うので、その辺の対策もしっかりやってほしい。学校ばかりでなく家庭でもやっていかなければならないと思うが、しっかりと対策は取ってほしい。

質問17

上佐谷小学校から先生は何人行くこととなるのか、その基準はあるのか。

回答17

決まりはないですが、十分配慮したいと考えます。

質問18

各小学校の意見は、後日の説明会に用意してもらえるのだろうか。自分たちの問題もほかの小学校に知ってもらいたいし、他の小学校の問題も知りたい。

回答18

一言一句となると膨大な量になるので要点をまとめて用意したいと思っております。